

PIARC（世界道路協会）技術委員会 キックオフミーティング

Kickoff Meeting of World Road Association in Paris, 2024

萩原 剛¹ 西村 巧² 粕谷ひろみ³

Go HAGIHARA, Takumi NISHIMURA, and Hiromi KASUYA

1 はじめに

別稿¹⁾にて報告したとおり、世界道路協会（通称 PIARC）は、世界全体の道路技術・道路交通政策の向上を目的として1909年に設立された国際機関である。

PIARCは4年間で1つの活動期間として、戦略計画（Strategic Plan）に定められた4つの戦略テーマ（Strategic Theme）に基づき、世界各国から集まる道路関係の技術者・研究者が、それぞれの専門分野に応じた技術委員会（Technical Committee: TC）を組織して調査・研究活動を行っている。別稿にて報告した2023年プラハ大会は、2020～2023年の4年間の活動成果を報告するとともに、次期活動期間となる2024～2027年の戦略計画を承認するものであった。

プラハ大会で承認された2024～2027年の戦略計画に基づき、2024年1月から2月にかけて各技術委員会のキックオフミーティングが開催された。技術委員会の一覧は表に示すとおりである。当研究所からは萩原がTC2.1「都市部と郊外部のアクセシビリティとモビリティのための道路」に、西村・粕谷が「道路統計」委員会に参加した。

2 キックオフミーティングの概要

戦略テーマ2「道路モビリティ」のキックオフミーティングは、2024年2月7日～9日の3日間、フランスのCentre de Conférences Coeur Défenseで開催された。1日目は、全体会合が開かれPIARCに関する基礎知識の説明が行われた。2日目からは各技術委員会に分かれて会合が行われた。各国委員の自己紹介の後、4年間で検討すべき事項（TOR）について議論が交わされた。TC2.1では、以下3点について4年間でアウトプットを出していくことが確認された。

- 1) 都市部および都市周辺部における交通モード間の連携

- 2) 都市部における車両進入規制（ロードプライシングや歩行者専用ゾーンなど）
- 3) 渋滞する街路や利用が多い交通インフラにおける交通弱者のモビリティ確保

表－1 戦略テーマ（ST）と技術委員会（TC）一覧

ST1: 道路行政	
TC1.1	交通行政のパフォーマンス
TC1.2	経済・社会発展への道路の貢献
TC1.3	資金と調達
TC1.4	道路ネットワークのレジリエンス計画－気候変動と他の災害
TC1.5	災害マネジメント
ST2: 道路モビリティ	
TC2.1	都市部と郊外部のアクセシビリティとモビリティのための道路
TC2.2	持続可能な貨物輸送
TC2.3	持続可能性のための道路ネットワーク管理とITS
TC2.4	道路ネットワーク管理/ITS
TC2.5	コネクテッドと自動運転のモビリティのための道路インフラ
ST3: 安全と持続可能性	
TC3.1	道路安全
TC3.2	冬期サービス
TC3.3	アセットマネジメント
TC3.4	道路インフラと交通の環境影響
TC3.5	道路交通の脱炭素化
ST4: レジリエント・インフラストラクチャー	
TC4.1	舗装
TC4.2	橋梁
TC4.3	土工
TC4.4	トンネル
TC4.5	道路の建設・管理における脱炭素化
TC4.6	道路設計基準
共通（横断的委員会）	
・ターミノロジー ・道路統計	



写真－1 キックオフミーティング

出典：PIARC ウェブサイト「PIARC's 2024-2027 work cycle has begun」<https://www.piarc.org/en/News-Agenda-PIARC/News/2024-02-15,PIARC-2024-2027-work-cycle-has-begun-2024.htm>

参考文献

- 1) 村上他：第27回世界道路会議（PIARC：プラハ大会）、IBS Annual Report 2024, p. 76, 2024

¹ 交通・社会経済部門 グループマネジャー 博士（工学） ² 交通・社会経済部門 主幹研究員兼グループマネジャー

³ 交通・社会経済部門 研究員